

事業所名 グループホームあすなろ南陽

作成日: 令和 6年 5月 2日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活用し、地域の方を巻き込めるような活動の取り組みを行なう。	地区長さんとの交流と地域行事への参加	地区長さんへの避難訓練などの参加や災害時の協力体制ができるようにする。施設と地域行事の交流が持てるようにする。	12ヶ月
2	13	会社の方針にて当施設にて外国人労働者が約半分となり現場での介護の知識がより必要である。	介護基礎研修から介護初任者研修までの知識が身に付くようにする。現場での知識が生かせるような環境を作る。	研修の際は、会社が契約している介護フォローアップ研修にて外国人でも分かりやすい多言語サービスを活用した研修に取り組む。働きながらきちんとした現場の知識を身に付けていく。	12ヶ月
3	35	災害対策として地震を想定した研修を行なう。	事業継続計画(BCP)にて災害が起こった場合でも事業を継続させるための対策マニュアルができるよう一人一人が知識を身に付ける。	どのような状況でどこに、どのような避難をしたらよいのかを把握をし、確実な連絡網ができるような取り組みを行なう。運営推進会議などを活用し、日ごろからの協力体制ができるようにしていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。